

フード&クロージングバンク 立ち上げイベント盛会のうちに終了 東日本大震災から10年 衣と食をシェアする優しい未来を目指して ～ふふふフェスwith 劇場版にしえ着物ショー～

このイベントは、昨年度、セブンイレブン記念財団の助成を受けて進めてきた「衣と食の無駄をなくすフード&クロージングバンク推進事業」の一環として開催されました。

古着リサイクルに取り組む市民団体として活動を続けてきた本会は、昨年12月に創設30周年を迎えました。そして、東日本大震災から10年という節目のタイミングであること。加えて、このタイミングで「食」と「衣」の両面から地域社会の中で生活困窮に陥った人をサポートするための仕組み「フード&クロージングバンク」事業がスタートを切るとのこと。それらを合わせて広く周知できるよう企画されたのが、このイベントでした。

このイベントは、年度末の3月28日いわき産業創造館で、ステージイベント・セミナー・ワークショップにフードドライブや新型古着回収ボックスのお披露目など盛りだくさんの内容で催されました。

ステージイベントでは、まず震災前から交流が続いている(一社)日本リ・ファッション協会の代表である鈴木純子氏と本会理事長が対談して、古着を燃やすことなく有効活用していこうという想いを伝え合いました。

そして、鈴木氏プロデュースによる古い着物に再び命を与えるファッションショー、「リ・ファッションキャラバン」をいわきオリジナルの脚本付きで上演。東日本国際大学の学生ボランティアもプロの舞台人も一緒になって、優しく魅力的な時間と空間を作り上げました。また、都内のファッションデザインスクール「バンタンデザイン研究所」で学ぶ学生による、本会の古着を活用したアップサイクルファッションショーの動画上映もあり、本会の古着リサイクル活動の集大成とも言えるイベントとなりました。同時開催したフード&クロージングバンクについて学ぶセミナーや古布の再生を楽しむワークショップを含め、充実した内容の一日となりました。

なお、このイベントのステージ部分に関してはYOU TUBE配信を下記サイトにてご覧になれます。

<https://www.youtube.com/watch?v=gWwcjg4c6n0>

「劇場版にしえ着物ショー」で検索。



フードバンクいわきの使命
本会が二年前から生活困窮者へ食糧支援を行っているフードバンク事業は、昨年からは申請者数が倍増している。高齢化や母子家庭の増加、コロナによる経済状況の悪化などが主な原因であるが、食という人間にとって一番重要な問題だけに増加の一途は不安を醸成している。一日数件寄せられる申請書からは、半数以上が手持ち金ゼロ、ライフレインの中断、複数家族全員が病气、独居老人といった状況がみえてくる。一時の繋ぎの存在ではあるが、申請の翌日には手元に届くようスピード感を持って当たっている。手続きに手間取って意味がないからだ。▼こんにち我が国は一億飽食と言われ、食品ロス問題が話題となっている。世界に目を向ければ難民や飢餓問題など課題山積である。一方、我が国のテレビ番組で大食い選手権というのがある。時間内に数キロもある食物を完食する。人間のなせる技とは思えないスピードで食らいつき次々と完食していく姿を見ていると、驚きを越してこちらが吐きそうになる。馬鹿みたいと、吸きながら最後まで見てしまつたら可笑しい。▼ところで小学4年生のとき半年間学校を休む大病をした。肋膜炎だったようである。医者からはシツカリ栄養を取るようにと言われて、毎日卵と牛乳が枕元に用意されていた。微熱が続いていたから食欲など全然なく両親の監視の下無理して食べていた。病氣にならない限り卵や牛乳は食べられない時代だった。今は毎日でも食せる時代である。なのに明日食べるものがない。買うお金がない。このバランスはいつからかどうして崩れてしまったのだろうか。基本的な人権って何と云いたくなる矛盾だらけの社会である。▼仏法では「食に三徳あり。一には命をつぎ。二には色をまし。三には力を添う」とある。食こそが人間らしく生きるための基本であり幸福である。社会全体で食について真剣に考えていくべき時が来ていると思うのだが。

企業によるフード&クロージングバンク実施

いわき市内にある東北電力は国の電力自由化に向け「東北電力いわき営業所」・「いわき発電技術センター」・「東北電力ネットワークいわき電力センター」と3つの企業に分かれています。3社は活動の一環として「より、そう、ちから」の方針に上げています。その中で今回は、SDGsを掲げるフード&クロージングバンク活動に協力したいとの意見が出され、約2ヶ月間に渡り社員に向け「食品」と「衣類」集めを実施。沢山集まった食品と衣類の寄贈式が各営業所の代表が集い、東北電力いわき営業所で実施されました。

また同時に各代表者の前で当団体のフード&クロージングバンクについての紹介も行いより一層この活動について理解を深めて頂きました。このように企業と繋がりが出来、協力を得られる事はとても心強く励みになります。

★フードバンクで回収された食料 86kg

★クロージングバンクで回収された衣類 192着



▲贈呈式の様子



▲フードバンクについて紹介する様子

「フードバンクいわき」2020年活動報告書 完成

この度、WAM助成にて活動を実施した「安心していわきで暮らすためのフードバンク拡充事業」の報告書の冊子が完成しました。フードバンク活動について年間の取組みを掲載しております。興味のある方は、ピープル事務局までお問合せ下さい。



定期総会の開催のお知らせ

※コロナウイルス感染拡大が未だ収束しないため、昨年に引き続き書面決裁という手法で進めてまいりますのでご了承のほどお願いいたします。

私たちの活動を会員として支えて下さい。会費納入をよろしくお願い致します。

活動会費 (実際に活動に参加される方と、会報購読という形で支援して下さる方) 2,000円/年

賛助会員 (資金的な面から支えて下さる方と 法人・団体会員) 10,000円/年

郵便振替 (02110-0-24908) でお送り下さい。